

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史 世界史へのいざな イ 日本列島の中の世界の歴史 い 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p> <p>(2) ア ユーラシアの諸文明 世界史の一体化と日本 イ 結び付く世界と近世の日本 ウ ユーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p>	<p>●歴史を学ぶことの意義を今日的課題を挙げつつ、具体的に理解させる。 ○文明の成立以後の世界に多様性の理解 ○自然環境と文明の理解 ○外来文化への日本の寛容性と多様性の理解</p> <p>●近代化の進むヨーロッパによる世界に一体化のメカニズムと理論を歴史事象を等して理解させる。その中で、日本の位置づけを行う。 ○世界に一体化による価値観の統一化 ○経済的価値観による世界の統合 ○列強による力を元とした一体化の弊害 ○アジアにおける日本の特殊性・独自性の理解</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーを</p>	<p>●経済的価値観が多く戦争を生み出したことの理解と被抑圧民族の自立による新たな感覚・価値観の発生の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グローバル化の経緯に理解 ○宗教とヨーロッパ型価値観の相乗性 ○冷戦の終結による世界の混迷化 ○世界の不安定要因が成立した歴史的な理解 	

学習指導要領	都立東大和高校 学カスタンダード
<p>めぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	